

我孫子市男女共同参画講演会（令和8年1月25日開催）

ポップなジェンダリストおおちゃんに聞いてみよう 性の多様性ってなあに？

アンケート自由記入から抜粋。ほぼ元の文章を生かしており、用語・用例等の統一を図っていないが、趣旨を変えない範囲で加筆した部分もある。

【講演に関する感想】

- 自分って、無意識に思いこんでいることがたくさんあるんだなと思った。性の認識にはいろんな種類があるし、人それぞれ自分が入るところが違くなって改めて思った。自分はどんな人なのか、どんな考え方なのかを紙に書いて考え、自分を認識できた。（20代以下、女性）
- このような会が身近で開催されたことがとてもうれしく思った。LGBTQ+の話だけだと思っていたが、自身の心に向き合う時間があったり、公表している芸能人やご自身の SOGI をグラフで表す図があるなど、「心」について話してくれたのがよかった。（20代以下、その他）
- 多様性の中に含まれる“自分”についても知ることができてよかったです。（20代以下、女性）
- かなり良かった。LGBTQ を本当の意味での自分ごとにしてできる講演だった。（30代、男性）
- 大嶋選手がなでしこ時代から知っていました。同年代ということだけで親しみをもち、お話が聞けました。多様性とは「自分をよく知ることから」ということに、心が洗われました。（30代、女性）
- 丁寧でわかりやすい講座でした。（40代、女性）
- 大嶋さんのお話を伺うのをとても楽しみにしていました。元女子サッカー部でした。これからも応援しています！！（40代、女性）
- （満足度で「期待と違った」を選択）悪くはなかったが、ジェンダーの話、トランスジェンダーの体験が聞けると思っていたので、少しその話が少ないと感じた。（40代、男性）
- 10年以上前からLGBTQ 支援活動に関わっていましたが、自分の中のバイアスに改めて気づかされました。「自分を満たす」ことから始めます。ありがとうございました。（50代、男性）
- ワークがたくさんあっておもしろかった。マイルールや自分を掘っていくこと、他者を知るには、まず自分を知る。そういったことの大切さを改めて知りました。（50代、女性）
- 想像していた内容と違って、とても楽しい講習会でした。ワークを通じて自分を知り、また、多様性について学ぶことができ、参加できてよかったです。ありがとうございました。（50代、女性）
- 「まず、自分自身を満たす、知ることが大事」とのメッセージを身近に感じることでよかったです。（50代、男性）
- 大変わかりやすくていねいなお話をありがとうございます。まだまだ理解が足りないですが、勉強していきたいと思います。（50代、女性）
- 講演を聴くイメージで参加しましたが、参加型のワーク中心で気負いなくリラックスして参加できました。印象に残っているのは、LGBT ALLY に関して、マジョリティ側が可視化する方が安全という言葉です。その上で、6色の ALLY フラッグのことはこれからの自分に取り入れたいことです。また「多様性は外からやってくるものではなく、内側から広がっていくもの」という言葉で、これは排外主義や差別意識にも通じることだと再認識しました。いろんな場面で自分自身が解放された気分になれた講演会でした。（60代、女性）
- 多様性を語る前に、自分自身が自分のことをよく知らないことに驚きました。本人がカミングアウトしなくても、周りの人々も普通に自然に振舞えるのが理想ではないかと思いました。これからも自分でいろいろと勉強したいと思います。（60代、男性）

- もっとご自身の体験を語られるのかと思っていたので、想像していた内容とは違いましたが、講演は自分のことを考える楽しいものでした。「今ある自分をほめることの大切さ」が心に響きました。「(LGBTQ+の割合が) 10人に1人」ということは認識していませんでした。自分自身がどうありたいか、自分に問われていると感じました。(60代、女性)
- (満足度で「期待と違った」を選択) 初めての表題だったので興味深い話でした。また同じような企画を、お願いしたい。できれば大嶋さんで！(70代、女性)
- 自分のことを考える場となりました。(70代、女性)
- 知識を得る講演ではなくて、自分自身を知るワークショップがありとても良かったです。(70代、女性)
- 初めて聞く言葉や内容も多かったのですが、様々なワークを通して学ぶことができました。本当にありたい自分を考えて満たしていくことの大切さも深くうなずけました。参加して良かったです。(70代、女性)
- 大嶋さんは勇気をもって自分らしい生き方を追求してきた方だと思いました。ワークショップを取り入れながらの講演会は楽しかったです(70代、女性)

【テーマ、企画、その他のご意見】

- ぜひ小中学校で(小6~中2くらいまでに)やってもらいたいです。多様性=自分のこと、というのがとても良い視点でした。この内容であれば、タイトルのジェンダリスト、性の多様性という言葉を外してもよいかと思います。その方がいろいろな人にとっつきやすいタイトルになるかも。(30代、市内)
- 参加してみたらしっかりしていてよかったけれど、チラシの写真から内容が想像しづらい。(50代、男性)
- LGBTは個性の一つであり、自分の個性を客観的に意識することで心に余裕が生まれ、周りへの気遣いができるようになると考えます。現代の子どもたちは個性が重視される環境で育っているため、LGBTを当然のように存在する一つの要素として認識しています。我孫子市ではICT教育の一環として、その日の気持ちをイラストで表現する取り組みを行っているようです。これは単なるいじめの早期発見(外部からの評価)にとどまらず、自分の心を客観的に見つめることで、自己を振り返り心に余裕を持たせる効果があることがわかります。この取り組みの意義を子どもたちにどう伝え、いかに活用していくかが大人の責任ではないでしょうか。子どもにただやらせるだけでは、つまらない作業になってしまいます。先生任せにせず、私たち大人も一緒に考えていきたいと思います。(男性)